

昇仙峡地域活性化推進協議会
第2回幹事会 議事概要

日 時 令和3年11月29日（月）午前10時～午前11時
場 所 甲府市役所9階 会議室2
出席者 幹事長 幹事7名 幹事代理2名
欠席者 幹事1名
事務局 2名

【第2回幹事会 議事概要】

- 1 開会
- 2 幹事長あいさつ
- 3 昇仙峡地域活性化計画 令和3年度（2021年度）事業の進捗状況について
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

人材育成事業の昇仙峡ガイド養成の参加メンバーには、甲府市観光ボランティアのメンバーも含まれているのか。

【事務局】

現在、甲府市観光ボランティアガイドとして、善光寺や武田神社など市内の観光スポットを中心に活動されている方々も含まれている。

【幹事】

マウンテンバイクについてだが、商用目的としての経済効果はどうか。

【事務局】

「昇仙峡エリアにおけるマウンテンバイク事業の可能性に関する調査報告書」の中に料金設定や経済効果の予測等が記載されている。初年度で大きな利益が得られるとは考えていないが、数年経てばかなり軌道に乗れるのではないかという試算は出ている。

【幹事】

今後の情報発信の仕方次第では昇仙峡を活性化させるものになっていくのではないのか。

【事務局】

そのように考えており、今後は、その実現に向けて昇仙峡観光協会等と調整をしたい。

- 4 昇仙峡地域活性化計画 令和4年度（2022年度）事業計画（案）について
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

いま山梨交通が運行しているオープントップバスが大変好評のため、それに関わる事業を何かできないか。

【幹事長】

バス事業者が来年以降、オープントップバスを運行するかどうか決まっていない状況で
あることから、現段階で本市の予算を確保して事業を実施するという判断は難しい。
仮に実施するような状況があった場合には、関係各所で協力しながら実施方法等を協議
していくこととなる。

また、このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていけば誘引・誘客が期待
できるので、昇仙峡観光協会で行うイベント等あれば協力していきたい。

来年以降、昇仙峡の方で予定しているイベントはあるか。

【幹事】

予定しているイベントは、仙娥滝ライトアップがある。

そして、今年の11月5日、6日で行った集客イベントの「クリスタルナイト」は、
寒い時期であったにもかかわらず、とても多くのお客様にご来場いただいた。今までも
仙娥滝ライトアップを行ってきたが、なかなか近隣の飲食店への誘客に繋がらなかった。

しかし、今回はバス事業者によるシャトルバスの運行やキッチンカーの出店、広告の
ポスティングにより、普段昇仙峡を訪れない地元の方にも多く来ていただいて、新たな
昇仙峡の魅力を知ってもらえたのではないか。今回のイベントを通して、今後は長期の
イベントよりも短期のイベントの方がいいのではという思いになった。

【幹事長】

今回イベントを開催できたのも昇仙峡観光協会の協力があったこと。今後とも協力を
お願いしたい。

【幹事代理】

今年の秋の昇仙峡の入込客数の状況はどうだったか。

【幹事】

今年はコロナウイルスの関係で減ることを予想していたが、予想よりも来訪者が多かった。ほうとう会館前にはバスが停車できないくらい、多くの車が止まっていた。団体客は減ったが、それ以上に自家用車や路線バスを利用して訪れる個人客が増えた印象が強い。

【事務局】

平日、現地では制服姿の学生を多く見かけたが、修学旅行先のひとつに選定されているということか。

【幹事】

今年は新型コロナウイルスの影響で遠くに行くことができないこともあり、修学旅行や学校行事での来訪が多かった。

以前は団体客が多く、中でも年配層が多かったが、現在は、全体的に観光客は減ったものの自家用車で来る若年層が増えている。若年層が多い観光地は、未来に向けて発展していく余地があると期待している。

また、イベントなどを企画した際に参加者が集まりやすくなるのではないかと考えている。

【幹事】

今年の秋に甲府市観光案内所で案内する機会があった。その際に一番多かった問い合わせは「昇仙峡」であった。今後も活用整備事業等を進めていくが、これらのことをさらに情報発信して新たな切り口でPRしていったらいいと思う。それに関して、来年の事業で行う予定である「滝上園地景観整備」は具体的にどのように出来上がるのか。

【事務局】

現状では、はっきりと決まっていない。

地元事業者との相談の中では、水に親しめるエリアをイメージしていたが、河川に手を加えることが難しいことや事故防止などの安全性を踏まえて山梨県と相談をしている。国立公園内や河川内ということもあり、新しいものを作ることは想定しておらず、植栽を伐採するなどの整備で観光客の滞留を図ろうと考えている。

5 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

昇仙峡リバイバルプランの進捗状況の中で、現状手つかずの事業もあるので、今後の運営方法等について皆様からご意見をいただければありがたい。

6 その他

【幹事長】

高成の旧市営駐車場から昇仙峡ロープウェイの駐車場の方へ飛び石を設置して子供たちが遊べるようにしたり、人が渡れるようにしたりできないかという話を甲府市議員から聞いている。飛び石は主に子供の利用が多いと想定されるが、管理や安全性の問題もあるため、現状、設置が難しいと考えている。

また、設置にあたって、人の流れを変えてしまうことで商売などに影響が出ることも考えられる。そのような状況を踏まえてご意見等いただきたい。

【幹事】

橋の設置はどうか。

【幹事長】

以前は市営駐車場として市有地もあり、駐車場から河川敷の方へ降りていくことができたが、現在は状況が変わり、市営駐車場ではなく民地を通らないと河川敷へ降りることができなくなっている。

このような状況の中で、民地と民地を繋ぐための橋を架けるとなると協議が必要になってくる。

【幹事】

橋の話については、旧市営駐車場からロープウェイの方へ早く渡ればという目的で昇仙峡観光協会の中で検討してきたが、橋を架けるのにもお金がかかるのでなかなか実現には至らなかった。その代替案として飛び石の設置という話も出ている。これも荒川ダムで水量調整があるにしても雨や台風によって河川が増水して飛び石が水没してしまう恐れがあり、安全面に不安がある。

現在は、新静観橋を通してロープウェイの方へ行くのにもわずか数百メートルなので、

多額の費用をかけて橋を架ける必要はないという意見も昇仙峡観光協会内にある。

今まで昇仙峡観光協会では、総意で橋を架けることについて動いてきたが、様々な意見があるので、慎重に取り組んでいくべきことだと思う。

【事務局】

11月の13、14日に石川県小松市で開催された日本遺産サミットin小松に甲斐市商工観光課、甲府市観光協会、甲府市観光課で参加した。

会場には70を超える協議会が直接参加し、来場者はおよそ8,000人。日本遺産の見どころを伝えるなどPRをすることができた。

また、各自治体や文化庁の職員と意見交換ができる貴重な機会でもあった。

今回のサミットで得られた情報や自治体との関係を令和4年度の事業や補助対象期間終了後の事業に活かしていきたい。

もう一点、11月1日から23日まで昇仙峡エリアにおけるアンケート調査を昇仙峡観光協会のご協力により実施した。回答数は500件で、こちらは平均滞在時間や平均消費単価を把握するための貴重な調査となっている。集計ができ次第、改めて報告する。

【幹事長】

今年度は13の補助対象事業に取り組むということで現在事業を進めている。日本遺産の事業以外にも山梨県の観光MaaS実証実験や昇仙峡へのオープントップバス、昇仙峡クリスタルナイト等で賑わい創出が図れたのではないか。秋の観光シーズンには昇仙峡においてコロナ禍であることを忘れさせてくれるほど多くの観光客が来訪した。いずれも昇仙峡観光協会をはじめ、多くの方のご協力があったことである。今後も幹事の皆様には、ご協力いただきたい。

7 閉会

午前11時終了